

オンライン試験 受験の手引き (一般選抜)

【目次】

- I 注意事項
- II 使用機器
- III 受験環境の確認
- IV 受験の準備
- V 受験の実施
- VI 禁止事項・免責事項等について
- VII 不正行為・失格となる行為の一覧

I 注意事項

- ・ 試験当日、一般生入試は9時より、特待生入試は12時よりアクセス可能です。（アクセスできない場合は、直ちに受験票に記載された電話番号へご連絡ください）。
- ・ 試験中は資料などを見ることができません。机などに資料が置いてある場合は、机の上を片付けて頂くようお願いいたします。
- ・ 室内の掲示物を片付ける、また、本棚を布や模造紙等で覆うなど、視界に入らないよう対応をお願いいたします。
- ・ 机の上に出せるものは、受験票のみです。
- ・ 試験の注意事項の説明、開始の合図は、ライブ配信にて行います。配信される試験監督の指示に従っていただきますようお願いいたします。
- ・ 試験中の離席は禁止です。
- ・ 試験中、カメラで受験者の動静が判断できるように、適切な照明を点灯してください。
- ・ 受験中にマイクに雑音や音声が入らないように、周辺のお環境にお気を付けください。
- ・ 受験に不要な全てのブラウザとアプリケーションを閉じてください。
- ・ 高校等で受験する場合は、受験場所に確実につながる電話番号をお知らせください。

II 使用機器

- ・デジタルデバイス
 - パソコンにて受験してください。（スマートフォン・タブレットは不可）
 - パソコンをお持ちでない受験生には本学から無償で貸し出しておりますので、一度ご相談ください。
- ・スピーカー
 - 試験監督者の声を聞くには、内部または外部のスピーカーを使用（イヤフォンも使用可能）
- ・マイク
 - 試験監督者との通信には、内部または外部のマイクを使用
- ・カメラ
 - 内蔵カメラまたは外付けウェブカメラを使用

III 受験環境の確認

- ・プライバシー
 - ・試験は、受験者のみで他の誰も入ってこない自宅の部屋で行うこと（高等学校での受験も可）
 - ・公園、インターネットカフェ、レストランなどの公共スペースや友人宅での受験は不可
- ・卓上と座席
 - ・デジタルデバイスは、机などの卓上に設置すること
 - ・卓上およびその周辺には、テスト中に使用が許可されていない物を置かないこと
 - ・通常の椅子に座って受験すること。ベッド、ソファー、ラウンジチェアでは受験しないこと
- ・服装
 - ・原則として制服着用（指定の制服がない場合は、試験に適した服装）
 - ・耳は、髪、帽子、その他の物で覆われていない状態で、常に見えていること
 - ・ジュエリー、ネクタイクリップ、カフスボタン、華美なクリップ、くし、バレッタ、ヘッドバンド、その他のヘアアクセサリ類は着用しないこと

IV 受験の準備

- ・事前に試験を始めるためのデジタルデバイスの準備を行なって下さい。
- ・Web会議システム「Zoom」を利用しますので、事前のインストールをお願いします。
- ・Zoomのバージョンが最新であることをご確認ください。
- ・筆記試験時の不正防止のため、オンライン試験監督システム「Check Point Z」を使用します。インストールの手順等につきましては事前説明会で解説しますので、必ず事前にインストールのうえ、動作確認を**最後まで**行なってください。
- ・インターネットサイトの検索閲覧ができるかなどインターネットの接続を確認してください。
- ・当日に、カメラが映らない、使用するカメラと異なるカメラ（アウトカメラなど）が認識されてしまうなど無いよう、設定の確認をしてください。
- ・事前に送受信リハーサルを行ないますので、必ず受けてください（その際は入試当日と同じ場所・同じ機器・同じ回線でご参加ください。）。

V 受験の実施

- ・受験票と一緒に送ったIDおよびPasswordから、日本経済大学のWeb試験システム（Zoom）へアクセスして下さい。
- ・Zoomミーティングに参加する際、『名前を入力』の欄には、『受験番号』を入力してください。
- ・Zoomを利用して、注意事項を説明します。その際、カメラ・マイクのチェックをします。また、禁止事項などをご案内致しますので、漏れの無いようお聞きください。
- ・試験中、カメラは常にオンにしておいてください。
- ・質問がある場合のみ、Zoomのプライベートチャットを利用し、試験監督官に直接ご連絡下さい。
- ・通信エラー等が発生した場合は、電話、プライベートチャット等で大学へご連絡をお願いいたします。

VI 禁止事項・免責事項等について

- ・原則として、行為・行動の基準は公開会場での試験開催の場合と同様とします。
- ・試験中の受験者の動作は、マイク・カメラを通して監督しています。試験中に不正行為を行ったことが判明した場合、あるいは、不正と疑わしい行為が判明した場合は失格となります。
- ・カメラ・マイクが正常に動作していない場合は失格とします。
- ・本人の確認不足や怠慢により、受験時間になっても適正に受験システムが動作できない場合は失格となります。動作確認時にご不明な点を解決するようにお願いいたします。
- ・受験者は、試験用のURLやリンク情報等を第三者と共有することは認めません。
- ・受験者以外による試験サイトへのアクセスおよび閲覧は認めません。
- ・試験問題や試験の様子の録画・録音、スクリーンショットの撮影や第三者への伝達および配信は認めません。
- ・本学は、本人の通信設備、パソコンの事情による通信障害や、本人の責により、受験に不具合が生じた場合の責任は負いかねますので、必ず動作確認を綿密に行なって下さい。通信基盤の提供会社の事情等により、映像が乱れたり、途切れたりする場合がございます。本学は対応できる範囲において、皆様が受験を遂行できるよう対策を講じて参ります。
- ・試験日に通信障害が発生した場合は、別日に追試験を実施いたします。
- ・面接中に通信トラブルが起きた場合は、本人の希望により、当日中に再接触が可能です。
- ・試験日にはトラブル等に対応するために、サポートデスク（受験票に記載された電話番号）を開設いたします。
- ・受験状況をレコーディングしています。あらかじめご了承ください。

VII 不正行為・失格となる行為の一覧

1. 受験者以外の者が受験した場合
2. 試験中、受験者が入れ替わった場合
3. 試験中に席を離れた場合
4. 試験中に他人と会話した場合（受験者が話していない場合も含む）
5. 試験中に、他の人が、無言であっても、受験者に近寄った場合
6. 試験中に携帯電話及びその他の電子機器を使用した場合（※）
 - ※ トラブルの発生に伴い、試験の続行に支障がある場合は、受験票に記載の電話番号までお電話ください。
7. 許可された以外の物（本、参考書、辞書、他）を出していた場合
8. 受験者の目に触れる位置に、試験内容に関連する掲示物が貼付又は置いてあった場合
9. その他、不正行為が行われていると、疑われる行為を行った場合

この手引きは、追加・修正がなされる場合があります。

本学ホームページ (<https://www.jue.ac.jp/entry/>) にて、
最新版をご確認ください。

各ページの左上にある「Ver.」の数字の大きいほうが、より
新しいマニュアルです。